

JAIC

大学・学生・企業をつなぐキャリア情報誌

キャリアのミカタ

2023.Sep Vol.42



Theme1

SNSの歴史と就職活動での利用状況

Theme2

ジェイック初の書籍出版 (2023年9月21日)

『社会人が身に付けたい ビジネスルールと仕事の基礎の基礎』

SNSの歴史と就職活動での利用状況

昨今は、学生・企業ともに、就職活動・採用活動におけるSNS*の利用が活発になってきました。かつてのSNSは娯楽や趣味の情報収集、または仲間うちでのコミュニケーションに利用するのが主でしたが、現在は就職活動や日常の調べものにまでSNSの利用用途が広がっており、若者たちにとっては特に、最も身近な情報インフラの1つとなっているといえます。そこで今回は、SNSの歴史を改めて振り返るとともに、Z世代のSNSの利用状況や、就職活動でどのように使用しているのかについてお伝えします。*SNSとは、ソーシャルネットワーキングサービス（Social Networking Service）の略で、登録された利用者同士が交流できるWebサイトの会員制サービスのことです。（総務省「国民のための情報セキュリティサイト」より）

■SNSの歴史

SNSの始まりは、1997年にアメリカで登場した「SixDegrees.com」というサービスであるといわれています。知り合いやつながりのある人しか書けない掲示板やメールを提供していました。

2001年に「SixDegrees.com」がサービスを終了すると「Friendster」というサービスの提供が始まり、その後2005年までに、現在のSNSの中心となっている、「Facebook」「YouTube」「Twitter（現X）」といったサービスが次々に現れました。そのころ日本では「mixi」が登場し、大ブームを引き起こしました。

2000年代後半になると、ガラケーの普及とともにさらにSNSの利用者が増え、総務省によると、2006年3月末時点での日本でのSNS利用者数は、716万人に達したとあり、これは前年度（2005年3月末）の111万人の約6.5倍でした。

2010年代に入るとスマートフォンが普及し始め、回線環境なども整ったことからSNSの利用はさらに活発になります。日本国内の利用者数が3,300万人（2019年発表）に上る「Instagram」も、2010年にサービスを開始しました。国内のスマートフォン等所有者の80%以上が利用している「LINE」も2011年にサービスを開始しています。

■現在のSNSの利用状況

SNSの歴史をたどってみると、1990年代後半に掲示板として始まったSNSは、特にスマートフォンの普及・通信環境の安定化とともに、この20年間で私たちの生活における重要なインフラとなりました。

一方で、利用されるSNSには流行もあり、2010年代は「Twitter（現：X）」や「Facebook」が人気でしたが、現在は「YouTube」「Instagram」「TikTok」などが流行っています。

また、「Clubhouse」「カカオトーク」「Skype」など、過去、一時的にブームとなったSNSもありましたが、いずれも瞬間的な人気にとどまり、現在は日陰の存在となっています。

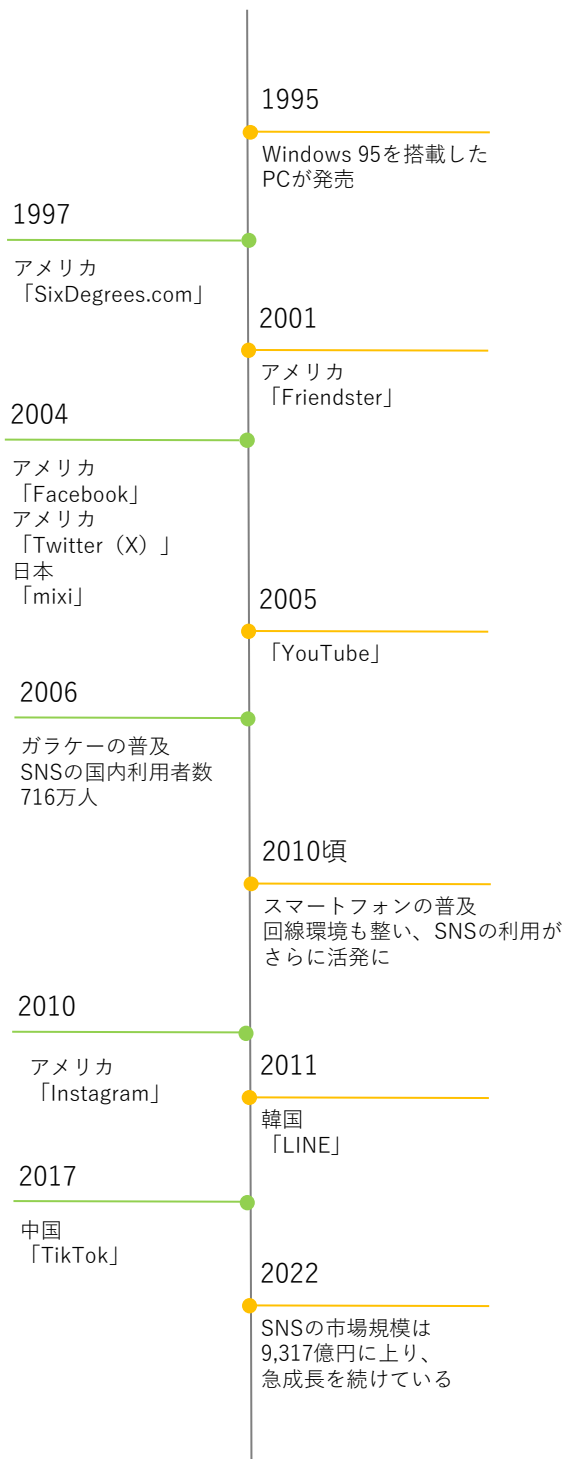
総務省の調査によると、現在のSNSの利用率は、1位LINE（94.0%）、2位YouTube（87.1%）、3位Instagram（50.1%）、4位Twitter（現：X）（45.3%）、5位Facebook（29.9%）となっています。

しかし10年後もこの順位かという、全くそうとは限りません。直近の可能性としても、TwitterがXに変わったことを嫌悪するユーザーが、Twitter（X）の競合とも言われる新しいSNS「Threads（スレッド）」（FacebookやInstagramを提供するmeta社が今年7月にリリース）に乗り換えるかもしれません。

一方で、若い世代を中心に「TikTok」の普及スピードも目覚ましいです。2017年リリースの「TikTok」は、比較的新しいSNSであるといえますが、すでに20%以上の利用率となっており、特に10代では60%の利用率となっています。今後、主流のSNSに成長する可能性を秘めているといえます。

SNSの利用動向は目まぐるしく変わっています。今、あるものもすぐに利用されなくなってしまう可能性がありますし、逆にこれから新しいSNSが生まれるかもしれません。

▼主要SNSのサービス開始と時代背景



■91.1%の学生が、企業アカウントが必要と感じている

採用に特化したSNSの運用代行サービス「エアリク」を運営する、株式会社リソースクリエイションの調査によると、就活生の91.1%が、企業のSNSアカウントは必要だと回答しています。また、その理由としては、「社員の雰囲気が一番よく分かる媒体だから」「HPよりも気軽に情報を得ることができるから」といった声が多数挙がりました。

どれくらいの学生が就職活動でSNSを使用しているのか、という調査は複数の会社が行っており、結果はさまざまなのですが、おおむね50%~70%の学生がSNSを使って就職活動をしているといえます。

就職活動でSNSを使用することによって、HPや会社説明会だけでは見えない、会社の社風や一日の仕事の流れなど、実際に自分が働いたときのことをイメージできるような情報を収集しています。

就職活動を進める上で、企業のSNSアカウントは必要だと思いますか？
(1つのみ選択) 559件の回答



出典：株式会社リソースクリエイション
SNS就活についての実態調査
<https://rc-group.co.jp/topics/detail.php?id=23>

■主要SNSの就活での利用方法

X (旧Twitter)

<特徴>

- ・140文字までの短文投稿
- ・幅広い年代が利用
- ・拡散性が高い（興味関心でつながる）
- ・リポストによる情報拡散が強い

<就活においての利用方法>

- ・企業の公式アカウントが多い
- ・人事の個人アカウントがある企業も
- ・就活用アカウントを運用し、相互フォローすることで、幅広く情報を収集
- ・Instagramに比べて、公式感が強く、DM等の活用はされにくい

LINE

<特徴>

- ・国内のスマートフォン等所有者の80%以上が利用している
- ・One to Oneのメッセージが強い
- ・採用選考の案内や連絡をLINEに集約する企業もある
- ・オープンチャットでは、匿名での情報交換が可能

<就活においての利用方法>

- ・企業との選考のやり取りをLINEで行うなど連絡ツールとして利用
- ・LINEオープンチャットで、企業や業界別の情報収集や面接レビュー等を匿名で閲覧することが可能
- ・就活エージェントが主催する、就活対策のサービスを受けることができる

Instagram

<特徴>

- ・画像や動画をメインとしたコンテンツ
- ・10代、20代は70%以上が利用
- ・ビジュアル訴求ができる
- ・企業アカウントも徐々に増えつつある

<就活においての利用方法>

- ・リール（縦長動画）を活用した、社風がわかる投稿が多い
- ・主に情報収集に利用
- ・就活対策系の投稿も多い
- ・X (旧Twitter) に比べて、企業の公式感が弱い
- ・DMの活用が気軽にできる

YouTube

<特徴>

- ・幅広い年代が利用
- ・動画コンテンツでメッセージをしっかりと訴求することができる
- ・他SNSと連携（リンク）して、情報を詳しく伝えることができる
- ・関連動画への誘導が強い
- ・YouTubeショートでの拡散性も高い

<就活においての利用方法>

- ・面接対策・準備に学生が利用する
- ・企業説明会や短い説明動画で仕事について知る
- ・企業公式アカウントは、企業の情報発信に使われる。

ジェイック初の書籍出版（2023年9月21日）

『社会人が身に付けたい ビジネスルールと仕事の基礎の基礎』

企業向けの教育研修事業と若年層向けの就職支援事業を展開する株式会社ジェイックは、当社のこれまでの実績やノウハウを活かした書籍『社会人が身に付けたい ビジネスルールと仕事の基礎の基礎』を株式会社労務行政より2023年9月21日（木）に出版いたしました。

■ジェイックが44,000社以上（※1）の社員教育支援で培ったノウハウを書籍化

株式会社ジェイックは、企業向けの教育研修事業と若年層向けの就職支援事業を展開しています。例えば、企業向けの教育研修では、毎年新しく入社する社員向けの『新入社員研修』を実施したり、各企業オリジナルの研修を実施したりしています。また、若年層向けの就職支援の中では、社会人基礎力を高めるような研修を実施しています。

当社のこれまでの実績やノウハウを活かした書籍『社会人が身に付けたい ビジネスルールと仕事の基礎の基礎』を株式会社労務行政より2023年9月21日（木）に出版いたしました。なお、当社の書籍出版は今回が初となります。

※1 2023年4月末現在の教育支援企業数

Amazon予約・販売ページ：<https://amzn.asia/d/gYESM25>

『社会人が身に付けたい ビジネスルールと仕事の基礎の基礎』
株式会社ジェイック（著）

■現代のビジネスパーソンが身につけるべき“仕事の基本”を徹底解説

ビジネスパーソンが早い段階で必ず身に付けたいビジネスマナー、報告・連絡・相談などの仕事の基礎から、いまの時代に合わせたSNSやビジネスチャットの使い方、情報セキュリティやキャリアに関する基本まで網羅しています。基礎的なマナーだけでなく、信頼を生むコミュニケーションスキルや、仕事で成果をあげられるタイムマネジメントスキル、キャリアの考え方など、社内での活躍や社会人としての成長までを網羅した一冊です。

ビジネスパーソンが身に着けるべき基礎的な内容となっているので、就活生が面接対策のために、内定者は入社に向けて社会人準備のためにご活用いただけます。また、基礎的なマナーだけでなく、スキル面やキャリア志向など、入社後に成果を上げるための要素も含まれているので、長くお使いいただけます。

【このような方におすすめ】

- ・入社後に円滑なスタートダッシュを切りたい学生や就活生の方
- ・入社したばかりの新入社員の方
- ・対面でのビジネスマナーに慣れていない若手社員の方
- ・普段はリモートワークで働いていて、対面でのビジネスマナーを確認したい方
- ・新人教育の社内講師を務める人事担当、新人を指導する上司・OJT指導者の方

大学・学生の就職支援、企業の採用の支援をしている弊社の新卒カレッジ事業部では、企業のご紹介だけでなく、就活力をアップさせる研修等を実施しています。また、大学4年生・院2年生の就職支援に限らず、3年生の就活準備やインターン対策、低学年向けのキャリア支援講座など、年々増えている大学からの講座のご依頼にも個別にお応えしております。社会人・若年層の教育研修のノウハウがあるからこそ、満足度の高い講座をご提供できます。何かお困りのことがございましたら、下記、運営会社（お問い合わせ先）までご連絡ください。

最後までご覧いただき、ありがとうございます。少しでも貴校の就職支援の参考になれば幸いです。最後にアンケートのご協力をお願いいたします。今後のキャリアのミカタの参考にさせていただきます。率直なご意見をお寄せください。右のQRコード、もしくはURLからご回答をお願いいたします。

現在、多くの大学様から、就職支援のご依頼を受けております。お困りのことがございましたら、お気軽にお問い合わせください。最新情報や貴校に合わせた支援内容をご提供させていただきます。

運営会社（お問い合わせ先）：
株式会社ジェイック新卒カレッジ事業部
東京都千代田区神田神保町1-101神保町101ビル6階（受付）
TEL 03-5282-7603 ☎ daigaku@jaic-g.com



【目次】

- 第1章 ビジネスマナー
- 第2章 コミュニケーションと言葉遣い
- 第3章 電話応対・FAX
- 第4章 ビジネス文書・メール・手紙
- 第5章 （オンライン）会議・チャットツール・SNS
- 第6章 来客対応
- 第7章 顧客等への訪問
- 第8章 知っておくべき働き方の基本
- 第9章 仕事との向き合い方
- 第10章 仕事で成果を上げる基本
- 第11章 休暇と自己管理
- 第12章 会社組織と数字の基本

■書籍情報

タイトル：
『社会人が身に付けたい ビジネスルールと仕事の基礎の基礎』
著者：株式会社ジェイック
発売日：2023年9月21日（木）
刊行：労務行政
仕様：A5判/136ページ
ISBN：978-4-8452-3451-6
価格：1,650円（税込）



キャリアのミカタアンケート
<https://forms.gle/kT65FRVdsrj1FXgk8>

キャリアのミカタ vol.42
令和5年9月20日 発行

